

フロン類算定漏えい量報告・公表制度 報告書作成支援ツール（ver2.2）について

平成30年度フロン排出抑制法に関する説明会資料

※本ツールの利用方法の詳細は、フロン排出抑制法ポータルサイトに掲載されている、下記手引き及びマニュアルをダウンロードしてご参照ください。

『ver2.0及びver2.1からver2.2への移行、報告結果の比較について』

『報告書作成支援ツール利用マニュアル』

http://www.env.go.jp/earth/furon/operator/issu_santei-2.html

1. 報告書作成支援ツールとは

2. 報告書作成支援ツール（ver2.2）の概要

2.1 支援範囲

2.2 機能

2.3 利用方法

2.4 前回報告結果との比較について

2.5 構成

3. ver2.0及びver2.1からver2.2への移行について

1. 報告書作成支援ツールとは

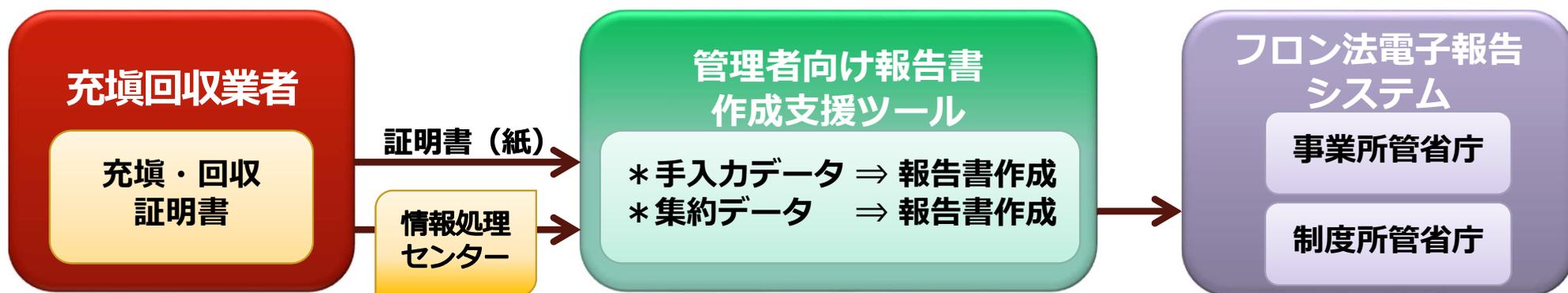
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（以下「フロン排出抑制法」）に基づく、**フロン類算定漏えい量報告・公表制度**（以下「本制度」）において、フロン類の漏えい量を報告する義務がある事業者（特定漏えい者）に対して、本制度の**報告書作成を支援するためのツール**です。**報告対象となる全ての事業者が使用できます。**

本ツールでは、充填回収業者から入手する充填・回収証明書をもとに以下のいずれかの方法で報告書を作成できます。

- ①直接報告データを手入力し報告書電子データを作成
- ②情報処理センターが提供する集約データを読み込み報告書電子データを作成

また、**報告書の書面が作成できる**ほか、**フロン法電子報告システムを利用して提出するための電子ファイルを作成することができます。**なお、本ツールは複数の事業所が入力した情報を集約することもできるため、各事業所で役割分担して入力を行うこともできます。

掲載URL：http://www.env.go.jp/earth/furon/operator/issu_santei-2.html



報告書作成支援ツールの用途

1. 報告書作成支援ツールとは

2. 報告書作成支援ツール（ver2.2）の概要

2.1 支援範囲

2.2 機能

2.3 利用方法

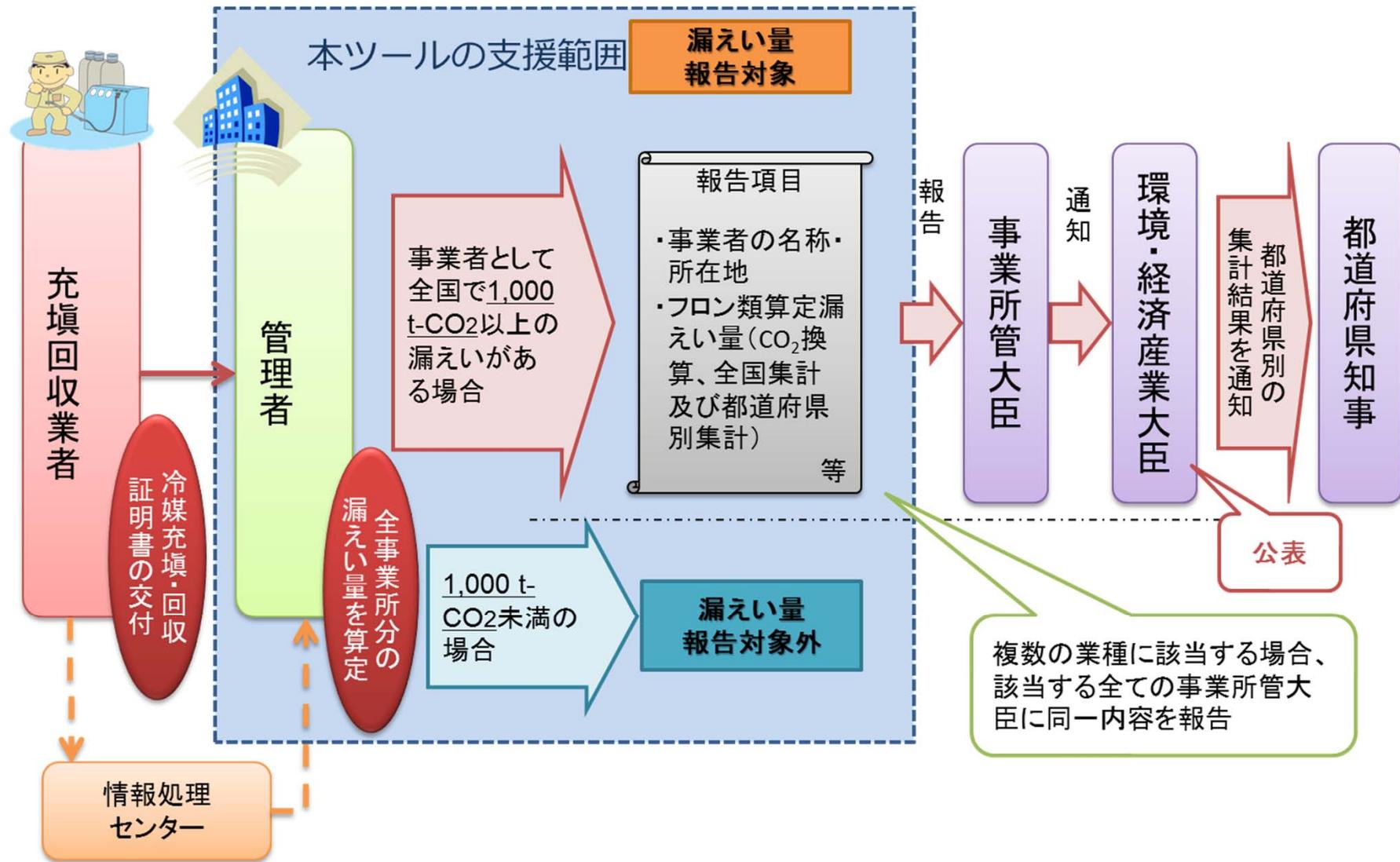
2.4 前回報告結果との比較について

2.5 構成

3. ver2.0及びver2.1からver2.2への移行について

2. 1 支援範囲

本ツールは、充填・回収証明書などの入力から報告書作成までを支援するツールです。



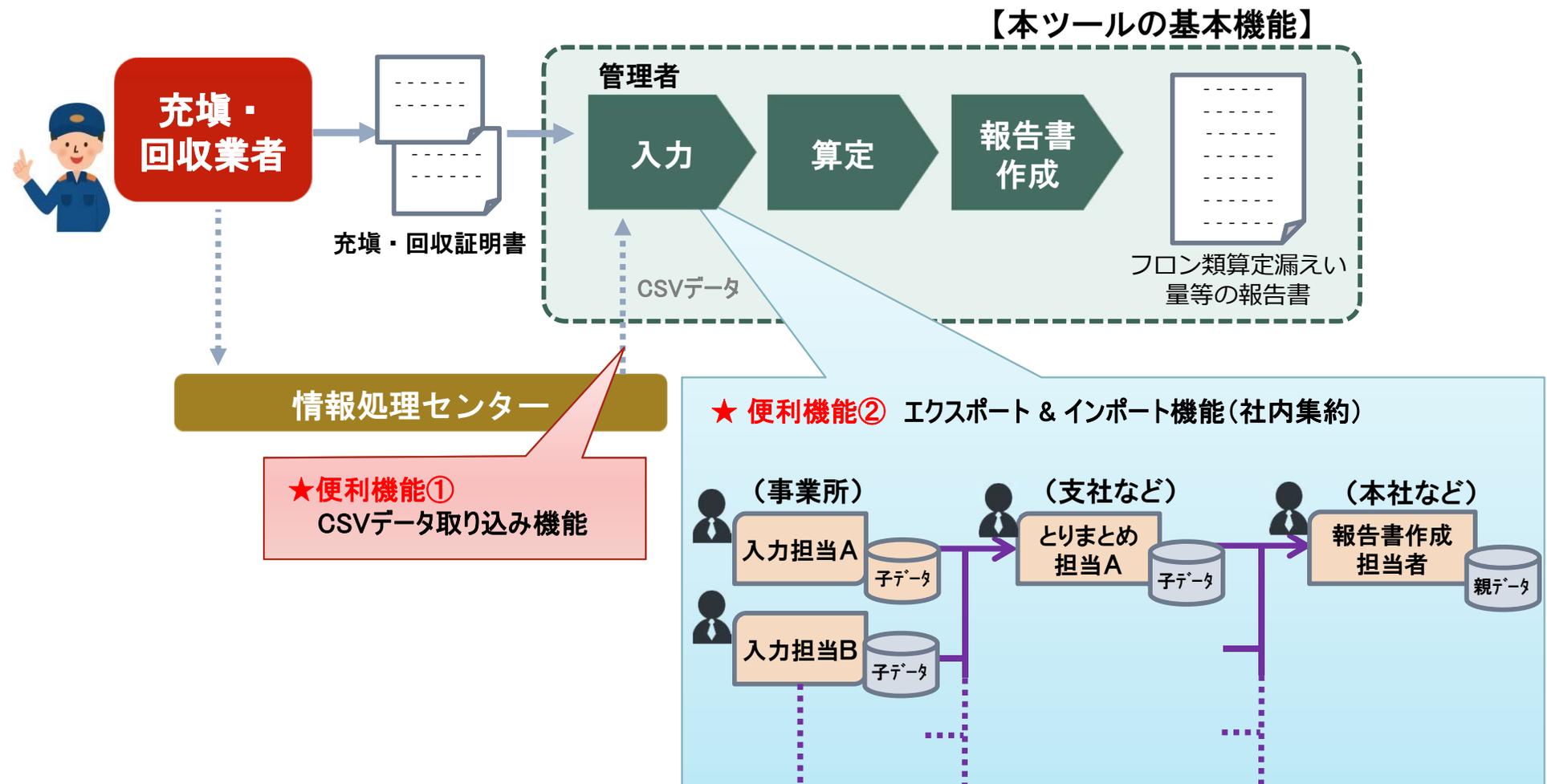
※当該センターを活用したデータ集計が可能

本制度と本ツールの支援範囲

2. 2 機能（概要）

本ツールでは、以下の方法で充填・回収情報を入力し、報告書の作成を行うことができます。

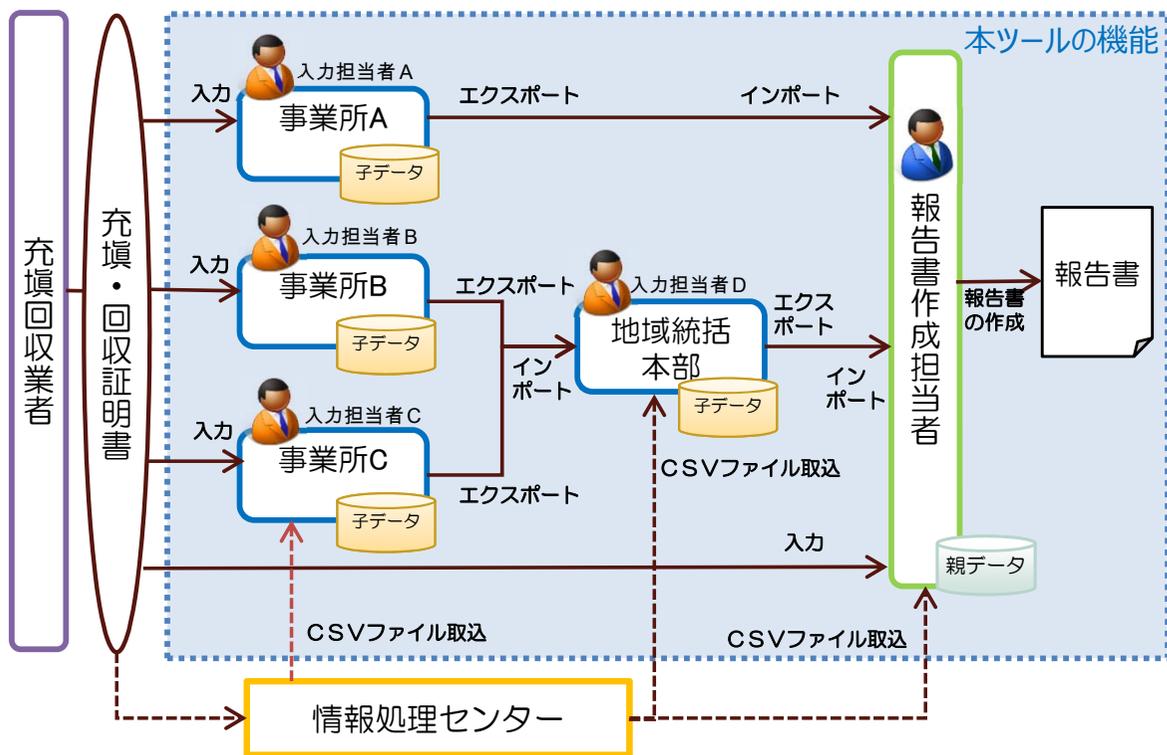
- ① 充填・回収証明書から本ツールに直接入力する
- ② 情報処理センターなどから入手した充填・回収データ(CSVファイル)を本ツールに取り込む



2. 2 機能（インポート・エクスポート等）

本ツールでは入力した事業所情報のエクスポートや、エクスポートした事業所情報のインポートをすることもできます。エクスポートした事業所情報には、当該事業所における充填・回収情報も含まれます。

本ツールの主な機能



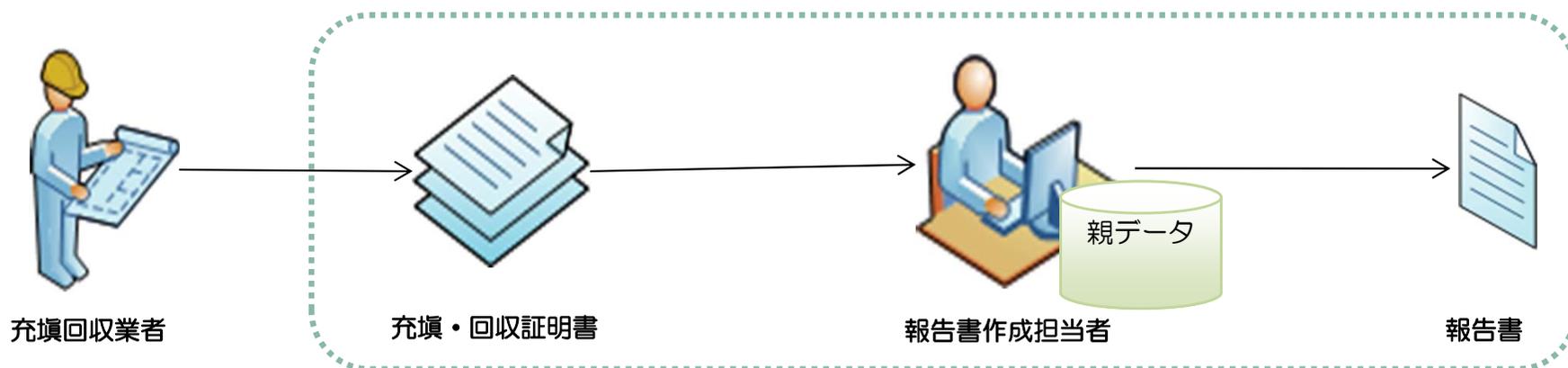
本ツールの機能概要

No	主な機能	想定利用者	
		報告書作成担当者	入力担当者
1	事業者情報入力機能	○	
2	事業所情報登録機能	○	○
3	充填・回収情報入力機能	○	○
4	充填・回収データ（CSVファイル）取込機能	○	○
5	事業所情報エクスポート機能		○
6	事業所情報インポート機能	○	○
7	報告書作成機能	○	
8	報告書出力機能	○	
9	入力チェック機能	○	
10	前回報告結果との比較機能	○	

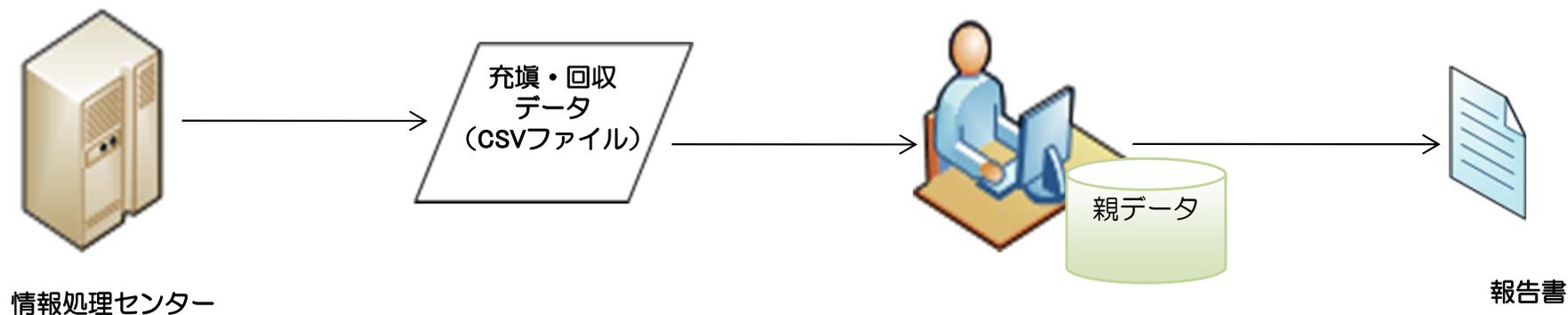
2. 3 利用方法 (1/5)

(A) 報告書作成担当者が全ての事業所の充填・回収情報を一括して入力し、報告書を作成する方法（親データを単独で作成）

① 充填・回収証明書から本ツールに直接入力する場合

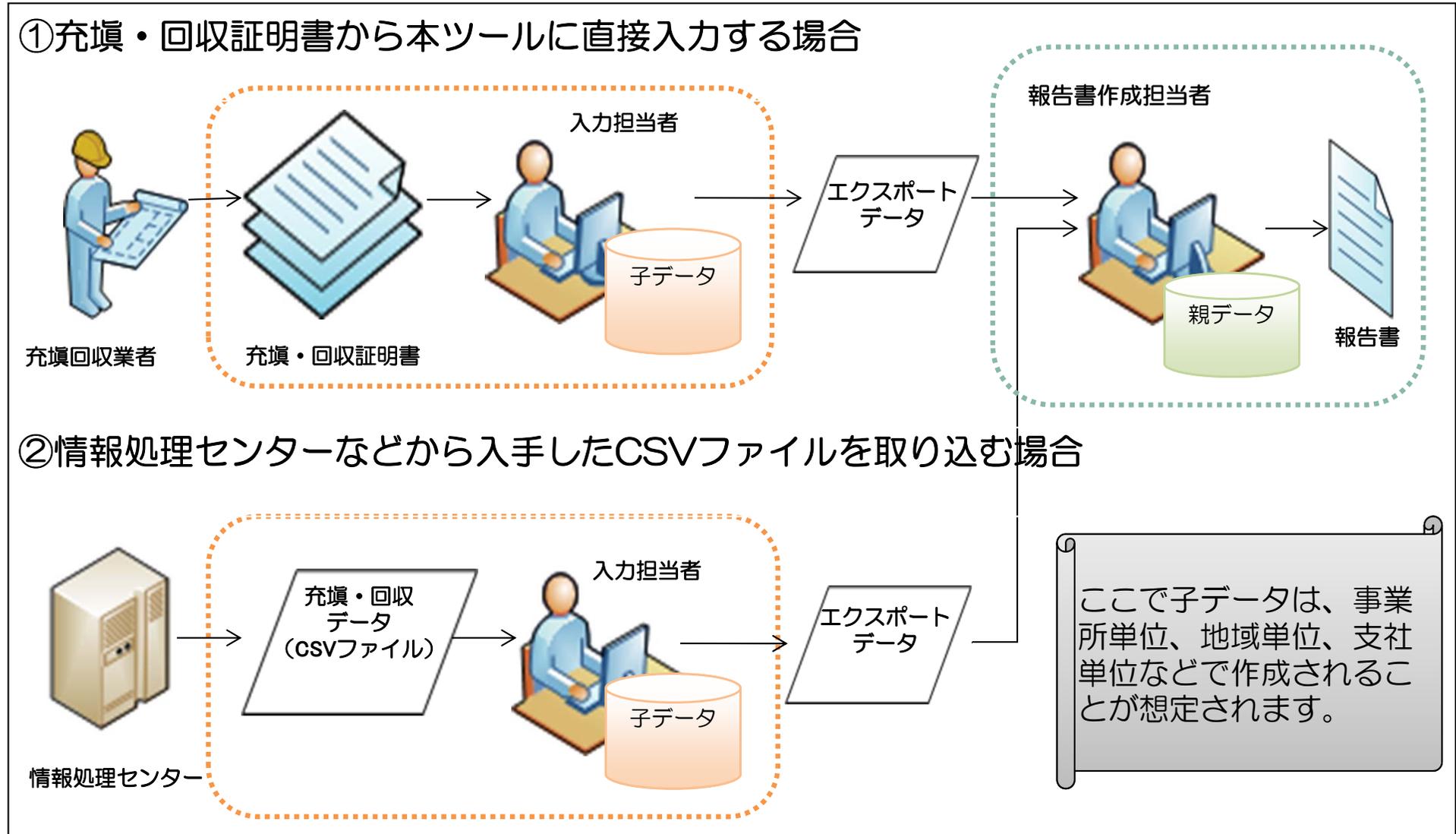


② 情報処理センターなどから入手したCSVファイルを取り込む場合



2. 3 利用方法 (2/5)

(B) 入力担当者が充填・回収情報を入力し、子データを作成後、報告書作成担当者が子データを集約し報告書作成する方法（子データを集約して親データを作成）



※A)とB)の混在も可能

2. 3 利用方法 (3/5)

漏えい量の算定対象年度の入力
算定対象年度を入力します。

事業者情報の入力
報告書の記載事項に合わせた事業者の情報を入力します。

充填・回収情報の入力
充填・回収情報を直接入力するか、
CSVファイルの取り込みを行います。

事業所の登録
↓
充填・回収情報の
入力
(A)①の場合

CSVファイル
取込
(A)②の場合

子データのインポート

エクスポートされた
子データを入力担当
者から入手しインポ
ートします。
(B)の場合

※ (B) 子データ
作成については
利用方法 (4/5)
を参照

各充填・回収情報を集約する場合に、同一の事業所の情報を正しく集約するために、また異なる事業所の情報を同一の事業所として集約しないために、事前に事業所名の命名ルールなどを事業者内で周知してください。

利用方法 (5/5) へ

2. 3 利用方法 (4/5)

(B) 子データ作成について

漏えい量の算定対象年度の入力

算定対象年度を入力します。

充填・回収情報の入力

充填・回収情報を直接入力するか、
CSVファイルの取り込みを行います。

事業所の登録

充填・回収
情報の入力

(B)①の場合

CSVファイル
取込

(B)②の場合

子データのインポート

エクスポートされた
子データを他の入力
担当者から入手し、
インポートします。

※他の入力担当者が作成した子データを別の入力担当者が集約するとき
に使用します。例えば、事業所の担当者が入力した子データを地域統括本部の入力担当者が収集する場合などです。

(特定事業所の場合) 特定事業所情報の入力

報告書の記載事項に合わせた特定事業所の情報を入力します。

子データのエクスポート

入力した情報（子データ）をエクスポートします。

※子データは本ツールでのみ作成可能で編集できません。
外部データを取り組む際には
CSVファイルとしてください。

2. 3 利用方法 (5/5)

利用方法 (3/5) より



漏えい量の算定

事業者全体および事業所ごとの漏えい量を算定します。



(特定事業所がある場合) 特定事業所情報の入力

報告書の記載事項に合わせた特定事業所の情報を入力します。



入力チェックの実施

報告書の作成に必要な事項に不備がないかどうか入力チェックを実施します。



報告書の出力

報告書を出力します。

紙で提出する場合
※報告書を印刷

フロン法電子報告システムで
提出する場合
※XMLファイルを出力

2. 4 前回報告結果との比較について

前回報告と今年度分の報告内容としてツールに入力されている情報との比較を行うことができます。**ご利用いただくことで、今年度報告対象とする冷媒が前回報告のときと比較して大きく増減していないかを確認できます。**

以下の2パターンで比較することが可能です。

- ① 事業者単位での冷媒別
都道府県別算定漏えい量

[メインメニューに戻る](#)

前回報告結果との比較：事業者全体

算定漏えい量(t-CO₂)

フロン類の種類	(1) R-22			(2) R-404A			(3) R-410A			合計		
	対前回比	今回報告結果	前回報告結果	対前回比	今回報告結果	前回報告結果	対前回比	今回報告結果	前回報告結果	対前回比	今回報告結果	前回報告結果
特定漏えい者全体	1.00	362	362	1.00	784	784	1.00	627	627	1.00	1,773	1,773
東京都				1.00	784	784	1.00	627	627	1.00	1,411	1,411
愛知県	1.00	362	362							1.00	362	362

- ② 特定事業所単位での
冷媒別算定漏えい量

[メインメニューに戻る](#)

前回報告結果との比較：特定事業所

算定漏えい量(t-CO₂)

フロン類の種類	(1) R-404A			(2) R-410A			合計		
	対前回比	今回報告結果	前回報告結果	対前回比	今回報告結果	前回報告結果	対前回比	今回報告結果	前回報告結果
東京店	1.00	784	784	1.00	627	627	1.00	1,411	1,411

2. 5 構成

シート名	概要	想定利用者	
		報告書作成 担当者	入力 担当者
使い方	本ツールの使い方（概要）を説明するシートです。	○	○
マクロを有効にする方法	マクロの設定を有効にするための手順を説明するシートです。	○	○
メインメニュー	算定対象年度の入力、各シートへの移動、事業所情報のエクスポートおよびインポート、報告書の作成などを行うためのシートです。	○	○
(1)事業者情報の入力・編集	報告書の様式第1の表面・裏面と様式第2に記載する情報を入力するシートです。	○	
(2)事業所の登録・一覧	事業所情報の登録や登録した事業所を一覧で表示するシートです。 本シートから事業所ごとの漏えい量詳細シートや特定事業所情報の入力・編集シートに移動します。	○	○
(3)充填・回収情報の入力・取込	充填・回収情報の入力やCSVファイルの取り込みを行うシートです。	○	○
(4)特定事業所情報の入力・編集	報告書の様式第1別紙と様式第2に記載する情報を入力するシートです。	○	○
事業所ごとの漏えい量詳細	充填・回収情報の入力・取込シートに入力された情報を事業所名で絞り込んで表示するシートです。	○	○
エラー一覧	事業所情報のエクスポートおよびインポート、CSVデータの取り込みを行う際に実施するエラーチェック、または報告書出力前チェックの結果を表示します	○	○
前回報告結果との比較 (事業者全体)	事業者単位での冷媒別都道府県別算定漏えい量を前回報告のときと比較して表示するシートです。	○	
前回報告結果との比較 (特定事業所)	特定事業所単位での冷媒別算定漏えい量を前回報告のときと比較して表示するシートです。	○	
様式第1	様式第1の出力結果を表示するシートです。様式第1（印刷出力）のボタンを押したときに、様式第1の表面、裏面を表示します。	○	
様式第1第1表	様式第1第1表（特定漏えい者のフロン類算定漏えい量）を表示するシートです。	○	
様式第1第2表	様式第1第2表の出力結果を表示するシートです。様式第1（印刷出力）のボタンを押したときに、様式第1第2表を表示します。	○	
様式第1別紙第1表	様式第1第別紙、別紙第1表の出力結果を表示するシートです。様式第1（印刷出力）のボタンを押したときに、様式第1第別紙と別紙第1表を表示します	○	
様式第2	様式第2の出力結果を表示するシートです。様式第2（印刷出力）のボタンを押したときに、様式第2を表示します。	○	

1. 報告書作成支援ツールとは
2. 報告書作成支援ツール（ver2.2）の概要
 - 2.1 支援範囲
 - 2.2 機能
 - 2.3 利用方法
 - 2.4 前回報告結果との比較について
 - 2.5 構成
- 3. ver2.0及びver2.1からver2.2への移行について**

3. ver2.0及びver2.1からver2.2への移行について

現在公開している報告書作成支援ツールはver2.2です。ver2.0及びver2.1では、正しく報告書が作成されない事象が発生することが確認されております。

今後ご報告いただく際は、ver2.0及びver2.1は使用せず、必ずver2.2を使用するようお願いいたします。

報告書作成支援ツール（ver2.0及びver2.1）でご入力いただいた「事業所」情報については、事業所情報をエクスポートし、ver2.2にインポートすることで取込可能です。

「事業者」情報については、大変お手数ですが、手動でコピー&ペーストしてください。

